

KYODO PR Business Report

第56期(2019年12月期)中間事業報告書



【経営理念】

我々は情熱と創造性で
顧客の課題解決を図り
100年のコミュニケーションをつなぐ
PRエージェンシーである。

【ビジョン】

No.1 PR

【当社の特徴】

「統合的なPRサービス」

当社ではPR戦略の立案から
実行までをワンストップで行う
専任チーム、危機管理、海外PR、
デジタルコミュニケーションなどの
高い専門性を有する専門チームを有し、
これらのチームが連携し、
統合的なPRサービス
を提供しています。

「メディアリレーションズ」

PR会社の主な業務には、
新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・
Webなど様々なメディアに
クライアントの情報提供を行う
「メディアリレーションズ(当社商標)」が
あります。現場から幹部層までが
長年培ってきた重層的な強固な
メディアネットワーク力は、
当社最大の資産です。

「PR業界への貢献」

当社が直接企業や団体などに
PRサービスを提供するだけでなく、
PR業界の活性化につながる
情報の提供をPR総研を通じて
行っています。
また、「広報の学校」を通じて、
広報・PR人材の育成に
つながる活動を行っています。

Top Message | 株主の皆様へ |



代表取締役社長

谷 鉄也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第56期(2019年12月期)上半期連結業績の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、新規リテイナー顧客の獲得と、新規顧客及び既存顧客からのオプション&スポット案件の獲得に注力いたしました。その結果、海外政府観光省や国内機械メーカーのリテイナーPR活動及び、国内企業の周年記念イベント案件等を新規で受注しました。

それらにより、上半期連結業績につきましては、売上高、営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期より増加し、堅調な業績を収めることができました。

連結子会社につきましては、共和ピー・アール株式会社は、全体的な案件数の減少等により、前年同期と比べ減収減益となりました。一方で、映画のPRに特化した連結子会社である株式会社マンハッタンピープルは、計画よりも案件を受注したことにより、前年同期に比べ増収増益となりました。

今後につきましては、引き続き利益率の高いリテイナー契約の維持と新規顧客獲得を図ることにより、安定的な利益の創出に努めるとともに、中期経営計画にも掲げておりますIT分野の強化、広告会社向けの開発強化、『PR TODAY』や『デジmana』等、商材やサービスの拡充を強化、推進してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

単位:百万円 ()は前年同期比

当第2四半期の概要		通期の見通し		2019年12月配当予定
売上高	2,728 (6.8%増)	売上高	6,000 (12.8%増)	1株当たり 10.00 円
営業利益	249 (10.3%増)	営業利益	500 (12.5%増)	
経常利益	249 (11.1%増)	経常利益	501 (12.9%増)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	207 (12.5%増)	親会社株主に帰属する 当期純利益	398 (8.7%増)	

デジタルマーケティングに特化したオンライン学習プラットフォーム『デジマナ』のサービス提供を開始

当社はデジタル・コミュニケーション事業拡大の一環として、デジタルマーケティングに特化したオンライン学習プラットフォーム『デジマナ』を4月に開始いたしました。

『デジマナ』は、デジタルマーケティングに関する講座の動画を多数収録していて全てオンラインで視聴することができます。そのため、ユーザーは各分野のエキスパートによる講座を24時間いつでも、どこでも受講することが可能です。また、オンラインテスト機能によって、各受講者の理解度や進捗状況を把握することもできます。

6月より「デジタルマーケティング基礎プログラム(18講座)」をスタートしていますが、今後も講座のリニューアルや新たな講座の開発等を実施し、サービスの充実を図ってまいります。

デジタル「今すぐ」育てる
人材を

デジタルマーケティング基礎プログラム

短期間で学べる!! 人材育成サポート

- デジタルマーケティングが分かる人材が少ない、育てられない
- 具体的に何から始めたら良いのか分からない
- デジタルマーケティングの話になると会話についていけない
- 社員研修に必要な最新の教材を持っていない
- セミナーや勉強会参加はコストが高い
- 地方では必要な情報を手に入れることが難しい

CTR

2018年第51回内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞受賞式典をPR

その年のプロスポーツ界で活躍した選手や団体を表彰する「内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞受賞式典」のPRを4年連続で当社が実施しています。大賞には米大リーグ・エンゼルスで新人王を獲得する活躍を見せた大谷翔平選手が選ばれました。また、式典には安倍晋三首相が初めて来賓として出席されました。総理大臣官邸報道室、体育協会記者クラブなど政界、スポーツ界双方のメディアとの事前の綿密な調整を行い、当社実施4年目で過去最高となる120名の取材誘致に成功しました。

的場文男騎手 地方競馬通算最多勝利記録達成PR活動

東京シティ競馬(大井競馬場)に所属する的場文男騎手が、地方競馬通算最多勝利記録(7,151勝)を達成しました。同競馬場は、20年以上PRをサポートしているクライアントであり、その中での場騎手の記録の偉大さや人柄を、6,000勝、7,000勝達成等の節目ごとに継続的に伝えてまいりました。今回、その集大成として、特設サイトの制作から、記録達成までのカウントダウンや取材対応、鉄拳さんのパラパラ漫画を活用した記録達成祝賀会の企画運営まで、幅広い活動を行いました。



「それいけ！アンパンマン きらめけ！アイスの国のバニラ姫」宣伝を受注

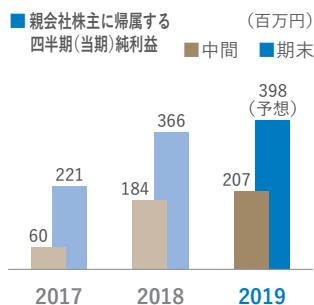
映画「それいけ！アンパンマン きらめけ！アイスの国のバニラ姫」の宣伝/マーケティングを受注しました。夏休みの先陣を切る6月28日(金)に公開し、週末3日間は歴代シリーズ最高のすべり出しとなりました。

これまで30年にわたる良質な娯楽作としての信頼と、お子様たちの映画館デビューの定番イメージをもとに、お母さんへの新たなデジタル施策、公開に向けたパブリシティ露出の強化が功を奏しました。

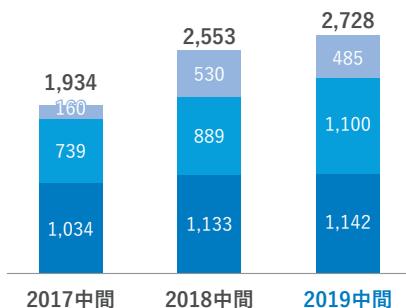
ディズニー・アニメ等、洋画アニメの宣伝実績に加え、邦画のファミリーアニメの成功を納めたことで、得意分野の拡大につながる受注となりました。



Financial Highlight | 決算ハイライト(連結) |



■業務区分別売上高(単位:百万円) ■リテイナー ■ オプショナル&スポット ■ ペイドパブリシティ



リテイナー …………… 企業などの広報活動を6ヶ月以上の契約をもって支援及びコンサルティングしていくものであります。PR戦略の策定からパブリシティ(記事化)業務、不祥事発生時の危機管理広報対応支援など幅広いサービスを行っております。

オプショナル …………… リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービスを言います。
スポット …………… 企業などの6ヶ月未満の広報活動支援を言います。ニュースリリースの作成・配信などのパブリシティ活動から、展示会や美術展等の開催告知目的のPR活動、記者発表会の企画・運営等まで各種のニーズに対応します。

ペイドパブリシティ …… 新聞や雑誌等の特定のページを購入して、顧客の意図する内容を記事形式で掲載していく手法を言います。

Company Profile | 会社情報 |

■取締役及び監査役 (2019年6月30日現在)

取締役会長	古賀 尚文
代表取締役社長	谷 鉄也
取締役副社長	沼田 英之
専務取締役	西井 雅人
取締役	木村 忠久
取締役	信澤 勝之
社外取締役	尼崎 勝司
常勤監査役	中田 一久
社外監査役	行本 憲治
社外監査役	黒澤 基弘

※社外取締役である尼崎勝司氏並びに社外監査役である行本憲治氏及び黒澤基弘氏は、株式会社東京証券取引所の規定する独立役員であります。

■大株主 (2019年6月30日現在)

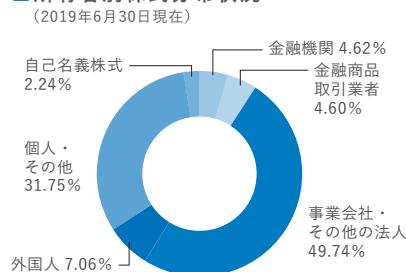
株主名	持株数	持株比率
(株)新東通信	1,437,396株	36.02%
(株)テクノグローバル研究所	565,000株	14.16%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG	162,000株	4.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	134,800株	3.38%
佐藤 友亮	125,700株	3.15%
共Pグループ従業員持株会	102,700株	2.57%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	83,800株	2.10%
山本 文彦	82,500株	2.07%
SMBC日興証券(株)	75,800株	1.90%
上村 巍	67,200株	1.68%

注)持株比率は自己株式(91,278株)を控除して計算しております。
また、自己株式につきましては、上記の表から除外しております。

■株式状況 (2019年6月30日現在)

発行可能株式総数	15,120,000株
発行済株式の総数	4,082,196株
株主数	1,393名

■所有者別株式分布状況 (2019年6月30日現在)



HPのご案内

トップページ <https://www.kyodo-pr.co.jp/>



当社の会社情報や様々なPRの実績をご覧になることができます。

IR案内 <https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/>



各種開示資料や冊子ではお伝えしきれなかった財務の情報がまとめられています。

社 名 共同ピーアール株式会社(証券コード:2436)
KYODO PUBLIC RELATIONS CO., LTD.
所在地 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル
電話:03-3571-5171(代) FAX:03-3571-8171
創 業 1964年(昭和39年)11月14日
資本金 5億651万円
社員数 206名(単体)、245名(連結)
(2019年6月30日現在)